

令和3年村上市議会第1回定例会
一般質問通告書

質問順

2月26日(金) 午前10時開会	1	木村貞雄	1ページ
	2	上村正朗	3ページ
	3	稲葉久美子	5ページ
	4	富樫雅男	7ページ
	5	渡辺昌	8ページ
3月1日(月) 午前10時開会	6	菅井晋一	10ページ
	7	本間善和	12ページ
	8	高田晃	13ページ
	9	鈴木いせ子	14ページ
	10	姫路敏	16ページ
3月2日(火) 午前10時開会	11	山田勉	17ページ
	12	河村幸雄	19ページ
	13	鈴木一之	21ページ

質問順	1
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（17番） 木村 貞雄

質問事項	質問要旨	答弁者
1 農業問題について	<p>本市の農業政策の現状と課題に対し、実施した施策について以下のとおり伺います。</p> <p>① 朝日地区では、ほ場整備の要望がありますが、市としてはどのような対応を行っているのか伺います。</p> <p>② 新規就農者の状況についてお聞かせください。</p> <p>③ 後継者育成について具体的に取り組んでいることや計画をお聞かせください。</p> <p>④ 岩船米の品質向上に向けた取組について伺います。</p> <p>⑤ 一級河川荒川に関わる用水についてですが、右岸・左岸用水が共に法的な水利権の関係で取水量が規制されています。岩船米のブランド維持・向上のためにも十分な用水を使えるように国土交通省へ要望をお願いできないもののでしょうか。</p> <p>⑥ 効果のある有害鳥獣対策を行っていますか。</p>	市長
2 危機管理について	<p>近年、地球温暖化の影響に伴い気候変動が激しく、いつ災害が起きるかわからない状況です。そこで次の点について伺います。</p> <p>① 市の防災会議のメンバーと定期的な会議の回数についてお聞かせください。</p> <p>② 危機対応のガイドラインやマニュアルの作成については本市の現状を考えた場合、十分であると考えていますか伺います。</p> <p>③ 組織編成の定期的な見直しについては、平時でも何回か行っていますか。</p> <p>④ 緊急事態下の市の業務継続計画作成の課題と対策についてお聞かせください。</p>	市長

	<p>⑤ 今年は里雪型で除排雪に大変苦勞したわけですが、今後も豪雪が続くようであれば、市内の裏通りの除雪や高齢者の一人暮らし等の対応を見直す必要があると思いますがいかがでしょうか。</p> <p>⑥ 防災対策と議会の立ち位置について市長はどのように捉えていますか。</p> <p>⑦ 新型コロナウイルス感染症が市内で発生した場合の対応について伺います。</p>	
--	--	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 1 番） 上 村 正 朗

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 「いきいき元気な笑顔輝く、支え合いのまちづくり」の実現に向けた取組について	<p>村上市政運営における最上位計画である「第2次村上市総合計画」は来年度、計画の最終年度を迎えます。</p> <p>計画における基本目標1「いきいき元気な笑顔輝く、支え合いのまちづくり」の実現のため、「地域福祉計画の策定により、市民が主体となる福祉活動の推進や地域で支え合う体制づくりを図る」ことが主要施策の一つとして掲げられています。目標の実現に向けて市と市民が力を合わせて取り組むことが必要だと考えます。そこで以下について伺います。</p> <p>① 市役所関係課の緊密な連携の下で取組を推進することが重要だと考えますが、現状と課題について伺います。</p> <p>② 社会福祉協議会及び各地区のまちづくり協議会と連携して取り組むことが大切だと考えますが連携の現状と課題について伺います。</p>	市 長
2 障害者差別解消法に関する取組について	<p>障がい者に対する差別的な取扱いの禁止と合理的な配慮の提供を定めた「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が平成28年4月に施行され5年が経過しようとしています。</p> <p>法律の理念を具体化し、障がい者を排除しないインクルーシブな社会を作るため、地域や職場、学校等での取組が重要だと考えます。そこで以下について伺います。</p> <p>① 法律の趣旨の徹底と具体化に向けて法施行時から今年度まで実施した取組について伺います。</p> <p>② 今後実施する予定の取組について伺います。</p>	市 長

<p>3 不登校の児童・生徒に対する支援について</p>	<p>不登校の児童・生徒に対しては学校や教育委員会が中心となり、関係機関と連携してきめ細かい丁寧な支援を行っているという理解はありますが、不登校の状態が解消しないまま中学校を卒業した生徒の人数と進路の決定状況（過去3年分）について伺います。</p>	<p>教 育 長</p>
<p>4 ひきこもり支援について</p>	<p>ひきこもりの状態にある人は全国で100万人以上おり、その中で40歳以上の人は61万人にのぼると推定されています。</p> <p>悩みや苦しみを抱えた本人及び家族に対する支援体制の充実が求められています。そこで以下について伺います。</p> <p>① 新年度に予定されている「ひきこもり相談窓口」の設置は大きな前進だと考えますが、窓口の設置と併せてアウトリーチ型の支援が重要だと考えますが見解を伺います。</p> <p>② ひきこもりの実態把握や情報の共有、支援体制の構築のためには、市役所関係課や関係機関、団体の情報共有と連携が必要だと考えますが見解を伺います。</p>	<p>市 長</p>
<p>[メ モ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 9 番） 稲 葉 久美子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 新型コロナウイルス感染症のPCR検査とワクチン接種の優先順位について	<p>厚生労働省で新型コロナウイルス感染症ワクチンが認可され、ワクチン接種を始めようとしているところですが、次の点について伺います。</p> <p>① 現在、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが心配される医療機関や介護施設などの職場では、適切にPCR検査が行われているのでしょうか。</p> <p>② ワクチン接種については、高齢者施設等の従事者も高齢者と同等の優先順位とすべきと考えますが、所見を伺います。</p>	市 長
2 就学援助制度の運用状況について	<p>① 就学援助制度の周知方法、案内における記載内容、申請書の配布対象、提出方法、収入を証明する書類について伺います。</p> <p>② 令和2年度の小・中学校の就学援助制度を利用されている人数、そしてコロナ禍の関係などで年度途中から制度を利用された人数を伺います。</p> <p>③ 市民厚生常任委員会の閉会中事務調査でフードバンクの取組について調査しました。その中で就学援助制度の周知が不足しているのではないかと感じました。どのような周知方法であれば学用品費などの助成制度を知ってもらえるのか検討したことはありますか。</p>	教 育 長
3 豪雪対策について	<p>地震や台風、低気圧等に伴う強風・豪雨・豪雪が頻繁に起こるようになってきました。</p> <p>今年の1月は近年にない豪雪に見舞われましたが、高齢者のみの世帯などでは大変な思いをされたのではないのでしょうか。除雪対策について、次の点</p>	市 長

	<p>を伺います。</p> <p>① 道路除雪の順番はどのようになっていますか。</p> <p>② 除雪については玄関先から道路までの除雪が大変ですが、高齢者や体の不自由な人は手伝ってくれる人がいなければ除雪は困難です。屋根の雪下ろし、玄関先の除雪など業者に依頼したいとき、どのような手続きが必要か伺います。</p> <p>③ 屋根の雪下ろしの助成額は3回まで1万円となっていますが、玄関先の除雪についてはどうなっているか伺います。</p>	
--	--	--

[メモ]

質問順	4
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 3 番） 富 樫 雅 男

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 若い世代が暮らしやすいまちづくりについて	<p>第2期村上市総合戦略(案)の4項目の基本目標の一つが「安心して子育てできる環境づくりと若い世代が暮らしやすいまちをつくる」となっています。そこで不育症への取組についてお伺いします。</p> <p>① 市内の不育症の実態についてお伺いします。</p> <p>② 厚生労働省では不育症についての助成制度を設けている自治体への補助を予定していますが、本市での助成制度の創設についてお考えを伺います。</p>	市 長
2 中山間地の生活支援について	<p>現在、村上市地域公共交通活性化協議会で公共交通の改善について検討されていますが、中山間地で生活されている方への支援について、市長のお考えを伺います。</p> <p>① 公共交通を考える上で受益者負担のあるべき姿についてお考えを伺います。</p> <p>② 買い物の利便性の改善について、市長のお考えを伺います。</p>	市 長
3 屋内での子どもの遊び場について	<p>昨年の第4回定例会の一般質問の際、旧神納東小学校の体育館を子どもの遊び場として活用することを検討しているとの答弁をいただきました。そこで、次の点についてお伺いします。</p> <p>① 具体的にはどのようなものか伺います。</p> <p>② 具体的なスケジュールを伺います。</p> <p>③ 遊び場の床、壁、遊具などへの市内森林資源の積極的な活用について伺います。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（11番） 渡 辺 昌

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 成年後見制度について	<p>本市においても成年後見制度の利用促進に取り組まれていると認識していますが、現在の状況や課題を把握するため、以下の点について伺います。</p> <p>① 本市における成年後見制度の利用状況について、制度利用件数の推移、成年後見等の種類、親族と専門職など第三者による後見の割合、併せて制度利用件数の今後の見通しについて伺います。</p> <p>② 令和3年度施政方針において、市の成年後見制度利用促進基本計画を兼ねた第2期村上市地域福祉計画の策定に着手する旨が述べられていますが、基本計画単体での策定としなかった理由について伺います。</p> <p>③ 本市でも今年度より市民後見人養成講座が実施されましたが、その評価と、今後の養成講座の計画及び目標とする養成講座修了者数について伺います。</p> <p>④ 養成講座修了者が実際に家庭裁判所から市民後見人に選任されるには、十分な実務研修が必要と思われるのですが、養成講座修了者への支援等の体制はどのようになっているのか伺います。</p> <p>⑤ 佐渡市では市民後見人養成講座修了者の多くが市民後見人に選任されている一方、県内の他の自治体では、市民後見人ではなく法人後見支援員として活動されています。本市における市民後見人養成の方向性について伺います。</p> <p>⑥ 本市が中心市となり、関川村・粟島浦村とともに定住自立圏を形成し各事業に取り組んでいるところですが、今後、広域連携によって成年後見制度利用促進を図ってはとありますが、所見を伺い</p>	市 長

<p>2 道の駅「朝日」拡充基本計画の見直しについて</p>	<p>ます。</p> <p>先般の全員協議会において、道の駅「朝日」拡充基本計画の見直しについて、担当課より説明がありました。そこで、以下の点について伺います。</p> <p>① 計画見直しの具体的な内容はいつ頃示されるのか、また、事業完了が当初の計画より大幅に遅れると思いますが、今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>② 計画見直しによる事業費の見込みや、財源等についての考えを伺います。</p> <p>③ 温泉は道の駅「朝日」の魅力を高める重要な資源であると思いますが、老朽化した温泉施設の今後の改修や運営について、所見を伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>3 特殊詐欺被害への対策について</p>	<p>巧妙な手口で不特定多数の方から多額の現金をだまし取る特殊詐欺が、大きな社会問題となっています。本市においても毎年被害が出ていますが、どのような被害防止への対策がとられているのか伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 2 番） 菅 井 晋 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 農業振興とほ場整備事業について	<p>① 主食用米需要減に関わる作物転換について、新型コロナウイルスの感染拡大による主食用米の需要が減少する中、非主食用米や大豆、園芸作物への転換に向けて、国・県からはその支援策が打ち出されています。しかし、非主食用米の売り先が確保できるか、価格が保証されるかなど、先行きは不透明であり、また、園芸作物への転換には新たな技術や設備投資も必要であり、農家を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっています。これに対応する市の施策について伺います。</p> <p>② 「朝日地区ほ場整備事業」の事業推進について、 舘腰地区は、5 a・10 a 区画のほ場が多く、地域農業の将来の担い手にとって、自動走行農機やドローンを使った最先端の農業「スマート農業」に取り組むには「ほ場整備」が欠かせません。 昨年12月、県からはほ場整備事業の令和4年度以降調査地区の選定通知があったと伺っていますが、事業採択に係る市の積極的な取組の結果であり、地域住民と共に心から感謝申し上げます。 そこで、今後の事業スケジュールや事業推進における課題などについて伺います。</p>	市 長
2 日本海沿岸東北自動車道「朝日温海道路」の事業促進について	<p>日本海沿岸東北自動車道、朝日まほろば IC とあつみ IC 間は、平成25年に「一般国道7号朝日温海道路」として事業着手されました。総事業費1,900億円の大事業ではありますが、同時期にスタートした酒田から遊佐、遊佐から象潟間は、部分供用開始の報道がありました。「朝日温海道路」の現在の進捗状況と供用開始見込みは、およそいつ頃になりますか。また、</p>	市 長

<p>3 行政事務の合理化と I C T や A I の活用推進について</p> <p>4 地域公共交通について</p>	<p>多額の投資が、早期に地域経済や利用者とその効果が活かされるよう、一部供用開始を求める要望活動が必要と考えますが、今後どう取り組むか所見を伺います。</p> <p>① 行政事務における I C T や A I の活用について、国のデジタル化政策の推進、I C T や A I の活用が行政事務にどう活かされていくのか。施政方針にあるマイナンバーカードの利用拡大や行政手続きのオンライン化、R P A 導入など具体的な方針を伺います。</p> <p>② マイナンバーカードの交付は平成28年に始まり、5年が経過し、市民への交付率は何%になっていますか。</p> <p>③ デジタル時代を見据えた行政手続きの押印見直しについては、昨年国から積極的に取り組むよう通知があったと聞いていますが、市の対応はどうなりますか。</p> <p>④ デジタル化推進と職員定員適正化計画については、施政方針に令和3年度から5年間の職員定員適正化計画が述べられていますが、デジタル化推進に伴う業務の効率化の効果はどのように考慮されましたか。</p> <p>「村上市地域公共交通計画」は、パブリックコメントを実施し、計画策定が進んでいますが、近年利用者が減少している路線バスは、長年自家用車を運転してきた高齢者にとっては、利用しづらい状況にあります。その要因はマイカーの持つ最大の利点である『ドア・ツー・ドア』の機能を欠くことであります。高齢者にとって利用しやすい公共交通として、デマンドタクシーや自家用有償旅客運送の積極的な活用が必要と考えますが、市長の所見を伺います。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>[メ モ]</p>		

質問順	7
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 7 番） 本 間 善 和

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について	<p>昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症対策として、政府は全国民に対して不要不急の外出自粛を呼びかけていますが、感染者の減少には至らず、先の見えない長いトンネルは社会経済に大きな影響を与えています。</p> <p>唯一の打開策として世界中が期待しているワクチン接種も、政府は2月から医療従事者を対象に接種を始め、4月からは65歳以上の高齢者や持病のある方、その後16歳以上の一般の方へワクチンを接種する方針を発表しています。</p> <p>ワクチン接種の実施については、各自治体が実施計画を策定することとなっていますが、村上市としてワクチン接種の準備状況と現時点でのスケジュール及び課題等をお聞かせください。</p>	市 長
2 村上地区の保育園整備について	<p>村上地区における「保育園整備に関する提案書」が、昨年、提案者である民間団体から整備予定地等の諸問題により取下げが行われましたが、保育園の整備促進のためには、民間の力をお借りした民設民営が大変有効な手法の一つと確信しております。</p> <p>一日も早く安心安全な保育園整備促進を図るため、例えば建設予定地を村上市が準備するなどの諸条件を付して、民設民営の保育園を運営する事業所等を募集するなど思い切った施策を提示し、早急に取り組むべきと思いますがお考えをお聞かせください。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 4 番） 高 田 晃

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた行財政運営について	<p>新型コロナウイルス感染拡大の波が繰り返され、いまだ収束の兆しが見えない中、変革する社会を見据えた持続可能な行政運営を行うことが重要です。</p> <p>ウィズコロナ、アフターコロナに向けた今後の政策全般について以下のとおりお伺いします。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染防止策の要となる、ワクチン接種への準備が進んでいますが、具体的な実施スケジュールと課題について伺います。</p> <p>② これまで社会経済活動の再生に向け、迅速かつ効果的な支援を行ってきましたが、長期化によって影響が心配される飲食店や宿泊業、生活困窮者等への新たな支援策について伺います。</p> <p>③ 税収等の落ち込みで財政状況が心配される中、今後の財政運営の見通しと持続可能な開発目標を遵守した政策について伺います。</p> <p>④ 行政業務の効率化に向けたICT、AIの活用推進策について伺います。</p> <p>⑤ 来年度から開始されるGIGAスクール構想の取組状況と課題について伺います。</p> <p>⑥ 経営拠点を首都圏から地方へシフトする企業が増加しています。こうした潮流を見越した企業誘致の戦略について伺います。</p>	市 長 教 育 長
2 雪害に対する支援について	<p>大雪の対応で困難を要した高齢者世帯等に対して、除雪活動等への支援や雪下ろし時の危険防止策への支援（アンカー設置補助金等）についてお伺いします。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（13番） 鈴木 いせ子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 農地中間管理機構関連農地整備事業について	<p>① 朝日地域長津地区の農地67haの調査設計が令和6年頃と聞いておりましたが、令和4年に繰上げされる見通しであると伺いました。この事業は受益者負担金がなく、国が62.5%、県が27.5%、市が10%の負担割合であるとのことですが、換地処分については財産権の変動を伴い、関係権利者の同意が必要となります。窓口をしっかりと設置していく必要があると思いますが、市の対応をお伺いします。</p> <p>② これは国の事業としての取組ですが、米だけでなく園芸作物を2割作付けしなければならないという条件が付き、期間も15年から20年とかかる事業です。村上市が主体となり農業改良普及センター、JA、生産者と一緒になってやっていただきたいですが、市長の考えをお伺いします。</p> <p>③ 計画が決定されたのは長津地区ですが、これからの館腰地区439haと三面地区117haにも説明に入っております。</p> <p style="padding-left: 2em;">村上市の農業のために有益な事業であると考えますが、市長の考えをお伺いします。</p>	市 長
2 鳥獣被害対策について	<p>今年に入ってから既に本市の海岸沿線と猿沢集落にイノシシが出没したと聞いていますが、雪が解ければ、去年にも増して有害鳥獣被害が拡大されることが懸念されますが、市の対策をお伺いします。</p>	市 長
3 令和3年度水稻の作付面積について	<p>① 主食用米がコロナ禍により前年より作付けを減らすようにとのことですが、主食用米以外への転換取組についてお伺いします。</p>	市 長

<p>4 豪雪による農業施設の被害について</p>	<p>② 年々鳥獣被害により作付けできない田が増えていますが、令和3年度は令和2年度に比べ作付面積はどのように変化すると見込まれますか。</p> <p>豪雪により農業用ハウスの倒壊等の被害がありました。被害件数と被害額を伺います。また、被害に対する市の支援策を伺います。</p>	<p>市長</p>
---------------------------	---	-----------

[メモ]

質問順	10
-----	----

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（15番） 姫路 敏

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 健康づくりについて	<p>① 昨年の第4回定例会で、後期高齢者の人間ドック費用補助の導入については、「令和2年度に県内で4市が選ばれ、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組む事業を実施しているのので、その検証の中で検討していく」との答弁でありましたが、その検証結果と併せて、人間ドックの費用助成についてどのように検討されたのか聞かせてください。</p> <p>② 温泉入浴助成事業「湯づくり・湯ったり事業」の現状について聞かせてください。</p>	市 長
2 新潟県交通災害共済について	新潟県交通災害共済における本市の現況を聞かせてください。	市 長
3 豪雪対策について	今年豪雪であり、新年早々から除雪作業に追われる毎日が続きました。そこで市民への除雪支援、特に高齢者や体の不自由な方などの生活弱者への支援状況について聞かせてください。	市 長
[メ モ]		

質問順	1 1
-----	-----

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（21番）山田 勉

質問事項	質問要旨	答弁者
1 のりあいタクシーについて	<p>現在村上市では、来年度から令和7年度までの「村上市地域公共交通計画」について、「いつまでも、自分で自由に移動できるまち」を目標に「最終計画を策定中」と報道されておりました。昨年の第3回定例会でも質問いたしましたが、本市のりあいタクシーも胎内市のように、運行時間の1時間前までを目安にいつでも予約できる。そして、料金については小・中学生が150円、高校生以上は300円、未就学児は無料と区間を問わず一律であることを参考とし柔軟な予約時間と定額制について検討する必要があると考えます。</p> <p>胎内市ののりあいタクシー「のれんす号」は、朝8時から中条築地エリア、乙エリア、黒川エリア3か所から1時間おきに出発しています。タクシーは7台で運行しているそうです。坂町病院、JR坂町駅、佐野医院などへも送り迎えをしています。その他、土日祝日は無料観光バス「くるっと胎内」も運行しています。</p> <p>胎内市の今年度予算は約5,000万円だそうです。村上市の令和元年度生活交通確保対策補助金は決算額で1億7,390万6,000円です。予約時間の柔軟な対応、料金の定額制について市長の考えを伺います。</p>	市長
2 荒川総合体育館の修繕について	<p>本年1月上旬から荒川総合体育館の一部屋根の損傷により全館が約1か月間使用できない期間がありました。再開後も1階2階とも雨漏りによって一部使用が制限されている状況が見受けられました。抜本的な屋根の改修が必要と思われます。</p> <p>合併後の検討の中で建て直すとの方向性が示され</p>	教育長

<p>3 漁業の振興について</p>	<p>ておりましたが、耐震構造的にも使用可能とのことですので早急な改修工事が必要と考えますが、お考えを伺います。</p> <p>本年1月28日に「村上市の農業と漁業の勉強会」があり、県の担当者からいろいろと説明をしていただきました。</p> <p>村上市は第2次総合計画の中で「水産業の活性化と消費拡大の推進」とうたっていますが、予算は十分でしょうか。以下令和2年度の事業内容をお聞かせください。</p> <p>① 後継者、中核担い手の育成事業についてお聞かせください。</p> <p>② ブランド化の推進事業についてお聞かせください。</p> <p>③ 水産関係施設の整備事業についてお聞かせください。</p> <p>④ 消費拡大対策事業についてお聞かせください。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 6 番） 河 村 幸 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 観光産業の回復に向けた取組について	<p>疲弊した観光業の活性化に向けた政府の支援事業「GOTOトラベル」によって旅行客が増え、新型コロナウイルス感染症の第3波襲来までは、行楽地に客足が戻りつつありました。需要喚起策であったこの事業の効果を強調したいと思います。</p> <p>10月、11月は予約客が例年並みまで戻ってきましたが、12月、1月の県内感染者の増加を受けて、書き入れ時の年末年始にも多くのキャンセルが相次ぎ、宿泊業は大きな打撃を受けました。産業を支え雇用を守り、客足を取り戻す長期的な支援策を行政に求めなければならない状況であります。国・県による支援策のこれまでの効果を踏まえ、今後の地域経済へのてこ入れ案に期待するところではありますが、何より大切なことは村上市独自の支援策こそ最大の効果を生み出すものと思います。次の点について市長の考えをお伺いいたします。</p> <p>① 需要喚起を進めるため今とるべき支援策、また、感染拡大が抑えられ落ち着いた状況下で改めて打つ支援策をお伺いします。</p> <p>② 社会全体が新型コロナウイルス感染症の対応に追われた中、観光の在り方が問われています。新しい生活様式の対応が求められていますが、新たな観光戦略、新たな観光政策の企画・立案が必要となると思いますが、市長の考えをお伺いいたします。</p> <p>③ 本市においては、村上・瀬波・岩船大祭の屋台巡行が中止となりました。地域の行事・文化・スポーツ等の企画も相次ぎ中止や延期の中、今後規模の縮小や新たな方向性での催しを考えていく必</p>	市 長

<p>2 道の駅を活用した情報発信について</p>	<p>要もあると思います。今年度の村上市が関わるイベントなどの開催の考え方についてお伺いいたします。また、新しい取組への行政からの指導・協力・支援策の考え方をお伺いいたします。</p> <p>④ 村上の鮭が観光特産大賞を受賞しました。鮭文化の歴史を伝える長年の取組が評価されたものです。村上の鮭の文化を更に育成し、観光産業・地域経済の活性化につなげる必要性を感じますが、市長の考えをお伺いいたします。</p> <p>道の駅「朝日」の改修計画については、日東道延伸により、国などと協議を重ね、基本計画を進めてきました。開通に備え拠点施設を改修整備し、観光・交流・情報発信の場・地域活性化につなげよう目指してきましたが、次の点についてお伺いします。</p> <p>① 道の駅「朝日」拡充基本計画の見直しの進捗状況はどのようになっていますか。</p> <p>② 道の駅「朝日」、道の駅神林「穂波の里」、道の駅笹川流れ「夕日会館」の今後の在り方や連携について市長にお伺いいたします。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（10番） 鈴木一之

質問事項	質問要旨	答弁者
1 児童虐待防止対策の 拡充について	<p>児童虐待問題は親と子どもの問題だけではなく、家族全体の問題です。また、地域社会・行政・警察・消防（救急）・医療・学校・幼稚園・保育園など様々な分野の方の協力なくしては、虐待を早期に発見することさえ困難です。そして、虐待を早期に発見することが子どもへの支援の第一歩です。児童虐待に対する背景と要因及び児童虐待を防止するために現在どのような対策がとられているのか次の点についてお伺いします。</p> <p>① 福祉のみならず教育、司法など関係分野において子どもの権利を尊重した対応や施策が展開されることが望まれます。親や社会の中に「権利の主体としての子ども」という理念が理解され浸透していくことが必要であり、そのためには人としての道徳や倫理面での教育が必要と思いますが、考えをお伺いします。</p> <p>② 児童虐待防止のためには、従来からの「早期発見・早期対応」等に加えて「母子健康包括支援センターの設置」を明記する中で、包括的な相談支援体制の確立によって、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない継続的な対策が打ち出された点は画期的であります。これらの施策を実施するためには、様々な課題があり、多くの人々の理解が欠かせません。まさに本市でこれから進められようとする関係機関を横断的に連携する相談業務、相談支援体制の充実など子育て支援対策を担う「子育て世代包括支援センター事業」だと思いますが、取組の考えをお伺いします。</p> <p>③ 里親制度は家庭的な環境の下で、健やかな成</p>	市長 教育長

	<p>長を目指した制度であり、虐待された子どもだけの制度ではありませんが、虐待された子どもが心身ともに安全な環境で養育されるには有意義な制度であると考えますが、地域の協力も含めての市の支援・協力体制について伺います。</p>	
--	--	--

[メモ]